

第 79 回山口県美術展覧会 要項

令和 8 年 11 月 26 日（木）～ 12 月 13 日（日）

山口県立美術館

the 79th Kenbiten



1 趣旨

「つくる・みる・ささえる」の創造的調和

制作の創造性を高めること（つくる）のみならず、美術作品を鑑賞すること（みる）や美術文化を支えていくこと（ささえる）もまた優れて創造的な行為であるとの意識を育成できるような、総合的な美術文化の普及と振興をはかります。

(1) 「つくる」

自由な意識や現代社会に根ざして制作した作品を幅広く募集し、厳正な審査ののち、優秀なものを展示します。

(2) 「みる」

審査員の視点や考え方を直に体感することのできる公開審査をはじめ、「みる」ことの多様性を体験できるプログラムを開催します。

(3) 「ささえる」

山口県立美術館や地元商店街が軸となって開催している「HEART（美術館まちなか交流事業）」と連携し、地域を基盤に、芸術支援活動を促進するプログラムを展開します。

2 会期および会場など

会 期：令和 8 年 11 月 26 日（木）～ 12 月 13 日（日） 休館日 11 月 30 日（月）

会 場：山口県立美術館 〒753-0089 山口市亀山町 3-1 TEL：083-925-7788

開館時間：9:00 ～ 17:00（入場は 16:30 まで）

観 覧 料：一般 600（480）円 学生 500（400）円

（ ）内は 20 名以上の団体料金

※ 70 歳以上および 18 歳以下の方、高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍する方等は無料。

※ 障害者手帳等をご持参の方と、その介護の方 1 名は無料。

3 主催

山口県

4 事務局

山口県美術展覧会実施協議会 〒753-0089 山口市亀山町 3-1 山口県立美術館内

TEL：083-925-7788 FAX：083-925-7790 E-mail：a19304@pref.yamaguchi.lg.jp

<https://y-pam.jp>

※郵便によるお問い合わせをご希望の場合は、往復はがきをご使用になるか、返信用封筒を同封してください。

5 第79回山口県美術展覧会運営委員(50音順)

岡田 泰	陶芸家、日本工芸会山口支部幹事、日本陶芸美術協会常務理事、萩陶芸家協会常任理事
岡本 正康	下関市教育委員会 教育部次長
倉田 研治	山口県立大学国際文化学部 准教授
原井 輝明	画家、宇部フロンティア大学短期大学部 准教授
藤井 正明	山口県観光スポーツ文化部 文化振興課長
森下 嘉昭	山口芸術短期大学 教授
山本 綾香	アスピラート〔防府市地域交流センター〕 副館長
若林 英樹	山口県民文化ホールいわくに シンフォニア岩国 館長

6 審査について

(1) 審査員 (50音順)

川浪 千鶴 (かわなみ・ちづる)

インディペンデント・キュレーター。山口県生まれ、福岡市在住。1981年から2018年まで、福岡県立美術館学芸課長、高知県立美術館企画監兼学芸課長及び石元泰博フォトセンター長を務める。2018年以降は、福岡市を拠点とするフリーランスのキュレーターとして活動。専門は日本の近現代美術、美術館活動史、アートと地域社会の関係性について。美術評論家連盟(AICA JAPAN)会員の他に、大学非常勤講師(福岡大学、西南学院大学、京都芸術大学)や美術館運営委員、展覧会審査員等を務める。九州の女性アーティストの活動を支援するコレクティブ「秋の種」のメンバーで、女性アーティストのライフコースと表現をめぐる調査研究として、日本のベテランアーティストたちへのインタビューを収録、発信する科研費共同研究プロジェクトにも参加(<https://asianw-art.com/interviews/>)。山口県美展の審査は3回目。

成相 肇 (なりあい・はじめ)

東京国立近代美術館主任研究員、美術批評家。1979年島根県生まれ、一橋大学大学院言語社会研究科修了。美術と雑種的な複製文化を混交させる企画を手がけながら、府中市美術館、東京ステーションギャラリー学芸員を経て2021年より現職。主な企画展に2011年「石子順造の世界 美術発・漫画経由・キッチン行」(第24回倫雅美術奨励賞)、2014年「ディスカバー、ディスカバー・ジャパン「遠くへ」行きたい」、2017年「パロディ、二重の声 日本の1970年代前後左右」、2022年「大竹伸朗展」、2025年「アンチ・アクション 彼女たち、それぞれの応答と挑戦」など。著書に『芸術のわるさ コピー、パロディ、キッチン、悪』(かたばみ書房、2023年)がある。山口県美展の審査は3回目。

保坂 健二郎 (ほさか・けんじろう)

滋賀県立美術館(SMoA)ディレクター(館長)。1976年茨城県生まれ、慶應義塾大学大学院修士課程美学美術史学専攻修了。2000年より20年まで東京国立近代美術館(MOMAT)に勤務後、2021年1月より現職。企画した主な展覧会に2014年「Logical Emotion: Contemporary Art from Japan」(ハウス・コンストラクティヴ他)、2016年「声ノマ 全身詩人、吉増剛造展」(MOMAT)、2017年「日本の家 1945年以降の建築とくらし」(MOMAT)、2022年「人間の才能 生みだすことと生きること」(SMoA)、2023年「AWT FOCUS 平衡世界 日本のアート、戦後から現代まで」(大倉集古館)。2013年「フランシス・ベーコン展」により西洋美術振興財団学術賞を、2026年日本建築学会文化賞を受賞。主な著作に『アール・ブリュットアート 日本』(監修、平凡社、2013年)など。山口県美展の審査は初めて。

(2) 審査方法

審査は、作品のジャンルを分けず、以下の3段階で行います。またすべての審査段階を公開します。

一次審査：入選候補作品を選定

二次審査：入選作品を選定

三次審査：入賞作品を選定

(3) 賞

大賞	1名(賞状・賞金50万円・次回県美展での展示空間提供と、展示作品の制作費50万円)
優秀賞	5名(賞状・賞金5万円)
佳作賞	(賞状)

7 出品について

次項(1)の「出品の条件」を満たし、搬入・展示が可能なものであれば、形式・寸法・重量・材質等は問いません。応募点数に制限はありません。ただし、以下の点については予めご了承ください。

- ・作品は慎重に取り扱いますが、搬入から搬出までの間における不慮の事故および災害等による作品の破損、亡失等については、責任を負いかねます。
- ・搬入受付後に作品に変更を加えることは、原則として認められません。
- ・出品者の責任により美術館の施設に損傷を与えた場合は、原状復帰のための費用を負担していただくことがあります。

【展示された作品の撮影について】

県美展をより開かれたものとするため、原則として、展覧会入場者による展示作品の撮影およびSNS等への投稿を可とします。ただし、これによって問題が生じた場合は、撮影者の責任において対処するものとし、主催者は責任を負わないものとします。

(1) 出品の条件

- ① 作品は、自己の創作したものであること。
- ② 作品は、審査を伴う公募展で展示されていないものであること。
- ③ 作品は、著作権や肖像権、商標権など、他者の権利を侵害しないものであること。
- ④ 作品は、通常の美術館の活動に支障を与えないものであること。
(危険物、動植物、腐蝕の恐れのあるもの等、展示室の環境に影響を及ぼす素材は使用不可)

(2) 作品搬入時の留意点

審査の円滑な進行のため、搬入受付時に、事務局で作品を以下の2つのタイプに分類します。

《Aタイプ》：審査に際して、比較的容易に移動が可能な作品

(例：絵画や写真など、主に壁に掛けて展示する作品)

→【繰り出し審査】審査員が着席し、その前に作品を繰り出して審査します。

《Bタイプ》：大きい、重い、割れやすい、など、審査中の移動が難しい作品

(例：陶芸、彫刻、インスタレーション、大部の組作品等)

→【据え置き審査】審査員が移動し、据え置きされた作品を審査します。

(3) 事前協議

搬入および審査を滞りなく進行させるため、以下の場合は、事務局と事前の協議が必要です。

協議の上、必要と判断される場合は、作品設置のためのスペースを用意します。

なお、設置場所の選定等については事務局に一任していただきます。

①《Bタイプ》に該当すると想定されるもののうち

- ・一辺が3mを越える寸法のもの
- ・重量が200kg以上のもの
- ・極端にもろい材質のもの
- ・作者による展示作業が必要な組作品やインスタレーション

② 映像作品など、特別な機器・電源等を要するもの

上記①②に該当する場合は、**以下の受付期間内に、山口県立美術館までお越しください。**

日 時：令和8年9月5日(土)～9月13日(日) 9:00～12:00 / 13:00～16:30

受付場所：山口県立美術館 通用口

必要なもの：展示プラン(素材、寸法、展示イメージ図を明記したもの)

(4) 出品料

1点につき4,000円を、出品目録に添えて、搬入日当日に納入してください(組作品の場合は、1組を1点とみなします)。受付後の出品料の返金には応じられません。

(5) 作品の搬入

日 時：令和8年11月6日(金)～11月8日(日) 9:00～12:00 / 13:00～16:00

受付場所：山口県立美術館 搬入口(山口市役所側の通用門から入り、建物の裏にまわってください)

(6) 作品の搬出

全ての作品は以下の日程で返却します。なお搬出は、作品預り証と引き替えに行います。

日 時：令和 8 年 12 月 18 日(金) ～ 12 月 20 日(日) 9:00 ～ 12:00 / 13:00 ～ 16:00

受付場所：山口県立美術館 搬入口

(7) 搬入および搬出の費用

出品者の負担とします。出品者による美術館での搬入出を原則としますが、やむを得ない事情により、事務局手配による返却をご希望の場合、その経費は着払いとします。

※梱包した状態で、3 辺[縦 × 横 × 高さ]の合計が 260 cm、総重量 50 kg を超える作品の返送については、事務局では対応できません。また、返送にあたっての梱包は、搬入時の資材を再利用して行います。

8 審査の公開について

(1) 審査の傍聴

審査会は公開します。また審査会 2 日目の審査終了後、傍聴者による審査員への質疑応答等の時間を設けます。傍聴をご希望の方は、必ず事前にお申し込みください。お申し込みがない場合、傍聴できません。

日 時：令和 8 年 11 月 10 日(火) 9:30 ～ 17:00

11 月 11 日(水) 9:30 ～ 12:00

会 場：山口県立美術館

申込方法：山口県立美術館ホームページ(<https://y-pam.jp>)の申し込みフォーム、FAX、はがきのいずれかでお申し込みください。出品していない方でも、傍聴可能です。

【記入事項】傍聴希望日・住所・氏名・電話番号

【申込期間】令和 8 年 10 月 5 日(月)～ 11 月 8 日(日) 必着

お申し込み・お問い合わせ：〒753-0089 山口市亀山町 3-1 山口県立美術館 県美展事務局

TEL:083-925-7788 FAX:083-925-7790

※ご記入いただいた個人情報は、第 79 回山口県美術展覧会審査会傍聴に関する業務以外には使用しません。

(2) 審査結果発表

展覧会の開会に合わせて、山口県立美術館ホームページ等で発表します。

出品者には、審査後 1 週間程度で、郵送にて審査結果を通知します。

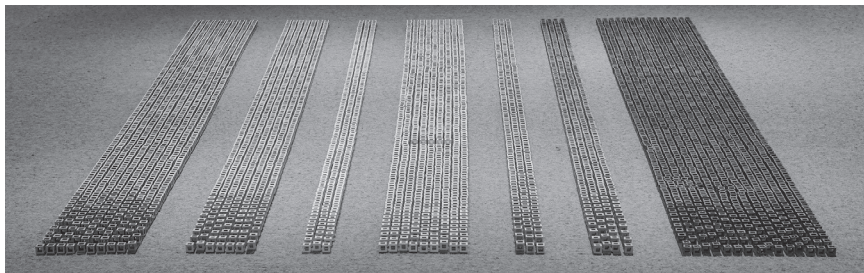
9 特別展示

前回の大賞受賞者、松本 一雄氏による新作を展示します。

第 78 回山口県美術展覧会

大賞受賞作品

松本 一雄 《マーチ》



10 ワークショップ「自作を語る」

第 79 回山口県美術展覧会入選者のうち希望者に、お送りいただいた自作解説文を掲示する形で、ご自身の入選作品について解説していただきます。

11 講評会

講師を招いて、第 79 回山口県美術展覧会入選者を対象に、特別展示および第 79 回山口県美術展覧会受賞作品を中心とした講評会を行います(参加無料、観覧券不要、要事前申込)。詳細は、審査結果とあわせて対象者に通知します。

日 時：令和 8 年 11 月 29 日(日)13:30 ～ 15:00

会 場：第 79 回山口県美術展覧会会場

講 師：川浪 千鶴(インディペンデント・キュレーター、第 79 回山口県美術展覧会審査員)

成相 肇(東京国立近代美術館主任研究員、第 79 回山口県美術展覧会審査員)

※対象者以外で傍聴をご希望の方も参加可能です(要観覧券)。

12 「HEART (美術館まちなか交流事業)」との連携

山口県美術展覧会の歴代受賞者(優秀賞以上)の作品紹介・販売などの事業を、山口県立美術館だけでなく、周辺の地域とともに展開します。